

令和6年度 病害虫発生情報 第2号

令和6年11月19日
千葉県農林総合研究センター長

キャベツ黒腐病の発生状況について

1 発生状況

- (1) 11月上旬に行った冬キャベツの県内5地点の巡回調査（1ほ場あたり25株調査）において、キャベツ黒腐病（写真）の平均発病株率は44.8%（平年値1.6%）と、過去10年と比較して最も高かった（図）。
- (2) 本年は気温が平年より高く推移しており、1か月予報（11月14日発表）でも気温は引き続き高く日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、黒腐病の発生に好適な条件が持続する可能性が高い。



写真 キャベツ黒腐病の症状

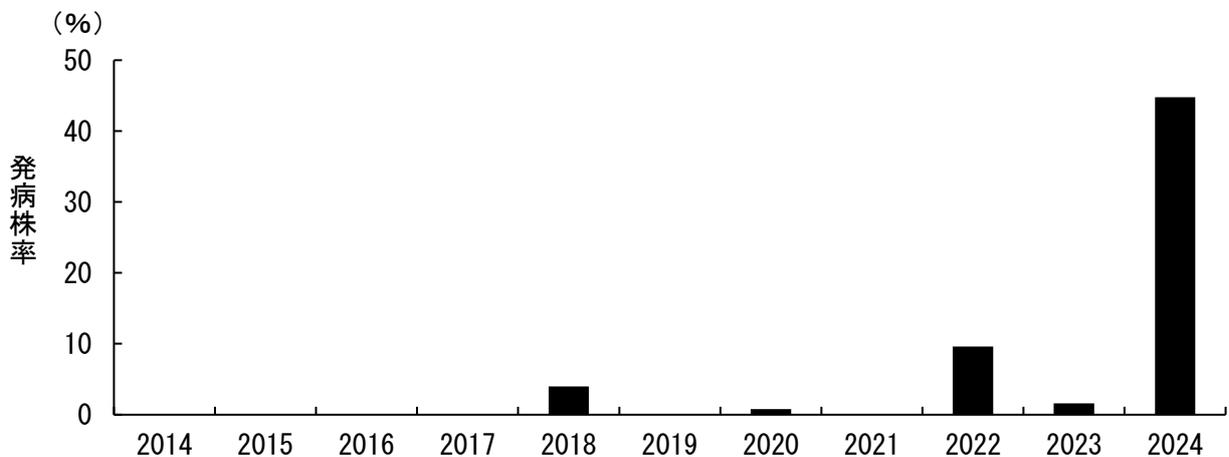


図 冬キャベツ11月上旬調査におけるキャベツ黒腐病の発病株率

2 防除対策

- (1) 発病株は早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分する。土壌伝染するため、すき込みは極力避ける。
- (2) 地下水位の高いほ場や水はけの悪いほ場では、ほ場の排水を良好に保ち、過湿状態にならないようにする。
- (3) 中耕作業によって生じる傷口は病原菌の侵入口となることから、発生ほ場では中耕作業を控え、又は株際の中耕作業を避け、植物体をなるべく傷つけないよう留意する。
- (4) 害虫の食害痕からの病原菌の侵入を防ぐため、害虫防除も徹底する。
- (5) 葉先の水孔や強風による傷口からも病原菌が侵入するため、強風が予想されるときにはべたがけ等を使用する。
- (6) 結球始め頃から2週間間隔で3回程度、表の薬剤のいずれかを展着剤を加用して散布する。
- (7) アブラナ科作物の連作を避ける。
- (8) 抵抗性品種を利用する。
- (9) 窒素過多を避ける。

表 キャベツで黒腐病に使用できる農薬（令和6年11月11日現在・千葉県農作物病害虫雑草防除指針による）

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	散布液量 (L/10a)
24+31	カセット水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	100~300
31+M1	ナレート水和剤	800倍	収穫14日前まで	3回以内	100~300
M1	Zボルドー	500~1,000倍	—	—	100~300
	オキシンドー水和剤80	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	100~300
	キノンドーフロアブル	800~1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	100~300
	ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	5回以内	100~300
24+M1	カスミンボルドー/ 銅シン水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	100~300
U18	バリダシン液剤5	800倍	収穫7日前まで	5回以内	100~300

- ・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

- ・薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

